

# 学会録事

## 1. 評議員の交代

本会評議員の三本善昭氏(東北地区)および野崎久義氏(関東地区)はそれぞれ関東地区、東京地区へ異動されたため評議員を辞任された。本会会則付則第4条により東北地区の評議員には次点の谷口和也氏に、関東地区の評議員には次点の吉崎誠氏に就任していただいた。任期は残任期間である本年12月31日までである。

## 2. 日本藻類学会第20回大会

1996年3月28~29日、東邦大学理学部(船橋市)において第20回日本藻類学会大会を開催した。大会会長は吉崎誠氏(東邦大学)で、一般講演は86題(うち展示発表19題、特別展示発表1題)におよんだ。大会参加者は250名であった。また、講演数が多かったことから2会場を用いて並行して発表がおこなわれた。

大会1日目に同会場で総会を開催し、引き続き習志野ラウンジにて懇親会をおこなった。懇親会は準備委員会関係者皆さんの真心のこもった手作りのもてなしであった。2日目の午後には、シンポジウム「海の中の森林生態学」(オーガナイザー横浜康継氏、筑波大学下田臨海実験センター)が開催され、5名の演者による講演がおこなわれた。シンポジウムに引き続き、シンポジウム懇親会が開催され再び楽しい一時を過ごすことが出来た。大会の運営にあたっては、吉崎大会会長を始め、宮地和幸氏、宮田昌彦氏、鳩貝太郎氏外多数の方々にご尽力いただいた。ここに記して厚く御礼申し上げる。

### 第20回大会参加者名簿

赤池章一、鯉坂哲朗、阿部英治、阿部信一郎、有賀祐勝、飯泉 仁、飯間雅文、飯山美紀、五十嵐聖貴、生富成一、池原宏二、石川依久子、石川茂雄、石本佳代、井上 勲、井上吉教、猪狩裕代、今泉真知子、今井正江、今西茂男、内田英伸、榎本幸人、恵良田真由美、Elster, J、大島 明、大竹敏博、大谷修司、太田雅隆、大野正夫、大浜 武、大森和子、岡崎恵視、奥田一雄、加崎英男、梶村光男、片山舒康、加藤法子、金井塚恭裕、金子謙一、加納康子、神谷充伸、香村眞徳、亀井淳子、川合正允、河内伸子、川口恵司、川口栄男、川島昭二、河地正伸、金南吉、金亨根、工藤倫彰、熊野茂、高原隆明、小亀一弘、国分利幸、小林 弘、小林一郎、小林正美、小鷲繁実、今野敏徳、斉藤宗勝、坂田康一、嵯峨直恒、坂西芳彦、阪部 舞、坂本節子、佐藤博雄、佐藤征弥、佐野郷美、沢田 威、篠原よし子、清水則和、志村秀明、杉山孝一、鈴木素弘、須田彰一郎、関山繁信、高津 翼、高野敬志、高橋 晃、竹内

利一、竹下俊治、田中次郎、谷口和也、種蔵俊之、千原光雄、月館真理雄、寺島由紀彦、傳法 隆、道家章生、徳田拓士、中島 泰、長島秀行、長嶋美香子、中野武登、中村章彦、中山克己、中山恭彦、南雲 保、難波謙二、二宮早由子、野崎久義、能登谷正浩、橋都重人、長谷川雅俊、花方信孝、畠中芳郎、鳩貝太郎、馬場将輔、濱田 仁、林田文郎、春谷芳明、半田信司、樋口澄男、日野修次、福島 博、藤田大介、藤田隆夫、藤田雄二、藤森 泰、藤原宗弘、星野倉去、堀口健雄、堀輝三、本多正樹、前川行幸、正置富太郎、町口裕二、松浦周介、松岡庄二、松田仁松、松本正喜、真山茂樹、丸山 晃、万田芳太郎、三浦昭雄、御園生 拓、水戸盛雄、峯 一朗、宮内康子、宮地和幸、宮田昌彦、宮本征秀、村上裕重、村瀬 昇、Mostaert, A.S.、本村泰三、安井 肇、矢部和夫、山岡 容子、山岸高旺、山崎基樹、山下博和、山下裕一、山中良一、山本文市、山本鎔子、横田 明、横浜康継、吉崎 誠、吉崎総雄、吉武佐紀子、吉田賢二、吉田忠生、吉田雄一、吉永一男、吉永輝子、李 祺完、渡辺 信、渡辺 信、青木美恵、秋山満知子、阿部剛史、飯田高明、石田健一郎、石田達也、伊藤泰二、井口律子、岩佐朋美、若原信吉、上野昌子、江端弘樹、大石 健、大賀 学、岡本 忍、奥村宏征、尾崎紀昭、片山裕行、加藤惣一郎、亀崎佳子、川崎彩子、神林友広、北地直子、木村裕子、倉島彰、黄偉、齋藤智香、佐久間茂男、鳶田 智、島田典幸、清水貴裕、生野智昭、菅原顕人、鈴木たかよし、関口弘志、芹沢如比古、大門由佳、竹内亜希子、谷 昌也、玉井弥美、田村 寛、張 暁明、辻村茂男、寺田竜太、土井考爾、富樫辰也、永井祐二、長島泰子、中村恵理子、中山 剛、西垣敦子、ニン・ベタワティ・プリハチニ、野畑 英、平岡雅規、藤岡久美子、古川隆博、Ma. Rovilla J. Luhan、蒔田紀彦、牧野 愛、松村知明、松山和世、真山なぎさ、三重野恵子、三井 薫、村岡大祐、村上由利子、森田詠子、守屋真由美、山岸幸正、山下亜純、巖 興洪、巖 興洪、吉田絵里、吉村義隆、李仁輝、渡部佐知子、渡辺 哲、奈島弘明、前田修之

## 2. 編集委員会・評議員会

3月27日に東京水産大学資源育成棟会議室において英文誌編集委員会および和文誌編集委員会を合同で開催した。和文誌に関しては井上編集委員長より第43、44巻「藻類」の編集状況に関する報告があった。論文、短報の質と審査基準のばらつきに関して写真の出力の質などに関して論議が交わされた。英文誌に関しては、川井編集長が海外出張中のため堀口副編集長が代わって報告をおこなった。第43、44巻「Phycological Research」の編集状況、投稿状況などに関する報告が

あった。また、ブラックウェルからの還付金の使途、表紙のカラー化などに関して検討をおこなった(総会の項参照)。また、外国人の論文の要旨の和訳を作成する際には、副編集長、編集委員、審査員などに広く協力を求めていくことになった。

評議員会を引き続き同会議室で開催した。1996年度総会に提出する報告事項・審議事項などについての審議をおこなった。内容に関しては総会の項を参照されたい。編集委員会・評議員会開催にあたっては田中次郎氏ならびに東京水産大学の学生諸君に大変お世話になった記してお礼申し上げる。

編集委員会出席者：井上 勲，堀口健雄，本村泰三，渡辺信，藤田大介，片山舒康，川口栄男，前川行幸，宮村新一，奥田一雄，田中次郎，堀 輝三，石川依久子，真山茂樹，大野正夫，渡辺 信，(オブザーバー：吉田忠生，小亀一弘)

評議員会出席者：吉田忠生，堀口健雄，小亀一弘，井上 勲，渡辺信，岡崎恵視，田中次郎，渡辺 信，熊野 茂，奥田一雄

### 3. 1996年度総会

1996年3月27日の講演終了後、同会場にて総会を開催した。吉田忠生学会長の挨拶の後、堀 輝三氏(筑波大学)を議長に選出して議事に入った。

#### 【報告事項】

##### ●庶務関係

(1) 会員状況(1995年12月31日現在)：名誉会員2名，普通会員559名，学生会員48名，団体会員54名，賛助会員11名，外国会員85名，国内購読19件。(2) 1995年度文部省科学研究費刊行助成金「研究公開促進費」交付額は1,150,000円であった。(3) 第19回大会を3月28日～29日高知城ホールにて開催した。(4) 評議員会を3月27日に総会を3月28日に高知城ホールにて開催した。(5) 10月27日に秋季シンポジウム「海苔の魅力と将来」をKKRホテル東京にて開催した。(6) 自然史学会連合ならびに植物分類学関連学会連絡会へ正式参加した。(7) 榎本幸人氏(神戸大学)のご協力のもと、中西出版に保管されていた「藻類」バックナンバーを神戸大学内海城機能教育研究センターへ移送した。

##### ●会計関係

(1) 1995年12月31日現在の会費納入率は、普通会員92%，学生会員140%，団体会員76%，外国会員117%であった。納入率が100%を越えているのは滞納分を納入していただいたため。(2) その他の事項に関しては審議事項参照のこと。(3) 1995年度分として企画

委員会より30万円，藻類絵はがきの会より25万円，事務局より5万円，有賀祐勝氏(秋季シンポジウムプログラム売上)より1,200円の寄付をそれぞれいただいた。

##### ●編集関係

(1) 1995年度に発行した和文誌「藻類」第43巻1～3号は、総頁数262頁，掲載論文数4，短報4，解説・総説3，研究技術紹介1，記事13，その他雑録であった。(2) 1995年度に発行した英文誌「Phycological Research」第43巻1～4号は、総頁数260頁で、掲載論文数30編であった。投稿数は横這いであり、会員各位の積極的な投稿を期待したい旨の発言があった。

#### 【審議事項】

##### ●庶務関係

(1) 1996年度事業計画：1) 第20回春季大会・総会(東邦大学)・評議会(東京水産大学)の開催，2) 和文誌「藻類」44巻1～3号の発行，3) 英文誌「Phycological Research」44巻1～4号の発行，4) 秋季シンポジウムの開催(九州大学)世話人 川口栄男氏(九大)，5) 会長・評議員選挙，6) 新編集長(英文誌)・新編集委員長(和文誌)の選出，7) 滋賀県琵琶湖賞授賞式参加(熊野評議員)。(2) 自然史学会連合から加盟各学協会が連合の運営資金として各2万円を負担してもらいたい旨の提案があった。藻類学会としてはこの案に賛成することとしたが、実際に支払うのは秋の自然史学会連合の総会でこの提案が了承されたからのことになる。(3) ブラックウェルからの還付金の使途について、1) 一般会計に組み込む，2) 英文誌の編集関係の事項に使用する，の2点が了承された。なお、今年度分の使途としては、Phycological Researchの表紙を全号カラー化するための補助金として用いることが了承された。(4) 会長・評議員選挙は8月頃をめどにおこなうことが承認された。(5) 学会大会の補助金を当該年度の前年に支払う場合には仮払い金として処理することが可能であることが確認された。(6) 企画委員会の資金調達について、企画委員会の内部資金を次の企画の運転資金にまわすことを原則とするが、それでは不足する場合、学会に対して新しい企画の計画書を添えて資金の貸し出しを要請することが出来ることとし、その資金は山田基金から拠出することが了承された。(7) 日本藻類学会の学会賞に関して、評議員の議を経て提案がなされたが、この件は慎重に進めた方がよいとの意見が大勢を占めたため、今後「藻類」誌上やアンケートを通して会員各位からの意見を集約しつつ学会賞の制定に向けて努力していくことになった。(8) 次期大会の開催地については、会場や寄付・補助金の調達の関係から2年後まで決めておいた方がよいとの提案があり、了承された。また、来年度の開催

地は広島、再来年の開催地は下田（静岡）とすることとし、それぞれ中野武登氏および横浜康継氏にお世話をお願いすることになった。

●会計関係

(1) 1995年度一般会計決算報告および同監査報告は表-

1の通り承認された。

(2) 1995年度山田幸男博士記念事業特別会計の決算報告および同監査報告は表-2の通り承認された。

(3) 1996年度一般会計および山田幸男博士記念事業特別会計の予算は表-3の通り承認された。

表-1 1995年度一般会計決算（1995・1・1～1995・12・31）

収入の部（円）		支出の部（円）	
会費	5,254,423	和文誌印刷・発送費	2,160,821
普通会員	3,612,000	印刷代	1,657,476
学生会員	335,000	別刷代	282,420
外国会員	595,423	発送費	220,925
団体会員	492,000	英文誌印刷・発送費	4,508,200
賛助会員	220,000	編集費	296,654
販売	349,000	編集補助費	150,000
定期購読	274,500	通信連絡費	36,300
バックナンバー	74,500	事務用品費	110,354
別刷代	405,550	庶務費	543,236
超過頁負担金	660,000	事務用品費	51,608
広告代	140,000	会議費	49,342
受取利息	12,783	通信・印刷費	166,648
プログラム代	0	諸雑費	275,638
文部省刊行助成金	1,150,000	幹事旅費補助	34,000
	0	事務補助	144,800
英文誌還付金	6,180	事務引継費	32,328
雑収入	601,200	バックナンバー移転費	63,450
寄付金		第19回大会補助費	120,000
		秋季シンポジウム補助費	50,000
小計	8,579,136	小計	7,953,489
前年度繰越金	6,221,592	次年度繰越金	6,847,239
合計	14,800,728	合計	14,800,728

一般会計貸借対照表（1995・1・1～1995・12・31）

貸方（円）		借方（円）	
普通預金（第一勧業、京都）	2,634,987	未払金	641,216
普通預金（第一勧業、新宿）	566,018	前受会費	2,290,000
郵便振替貯金（京都）	2,031,666	仮受け金	168,000
郵便振替貯金（札幌）	458,409	次期繰越金	6,847,239
郵便振替貯金（新宿）	2,965,120	前期繰越金	6,221,592
現金（事務局）	39,336	当期剰余金	625,647
現金（つくば）	9,024		
受け取り小切手	96,055		
アメリカンエキスプレス	21,000		
仮払金	120,000		
未収金	1,004,840		
合計	9,946,455	合計	9,946,455

表-2 1995年度山田幸男博士記念事業特別基金会計決算(1995・1・1～1995・12・31)

収入の部(円)		支出の部(円)	
山田追悼号売上金	0		
昆布類売上金	0		
日米セミナー売上金	0		
受け取り利息	24,514		
小計	24,514	小計	0
前年度繰越金	2,497,868	次期繰越金	2,522,382
合計	2,522,382	合計	2,522,382

## 貸借対照表(1995・1・1～1995・12・31)

貸方(円)		借方(円)	
定期預金	1,900,000	前期繰越金	2,497,868
普通預金	622,382		
当期余剰金	24,514	次期繰越金	2,522,382
合計	2,522,382	合計	2,522,382

日本藻類学会1995年度決算書に対し記名捺印する。

1996年3月19日

会長 吉田忠生 印  
 会計幹事 小亀一弘 印

決算書が適正であることを認める。

1996年3月19日

会計監査 田澤伸雄 印  
 会計監査 工藤利彦 印

(録事続き)

#### 4. 寄付について

1995年度も以下の方々(団体)から藻類学会に対してご寄付をいただきました。学会誌のさらなる充実のために使わせていただきたいと思います。ここに記して感謝申し上げますとともに、今後とも会員の皆様のご支援をお願い申し上げます。

企画委員会(スライドシリーズ売り上げ)30万円、藻類絵はがきの会25万円、事務局(海藻目録フロッ

ピー売り上げ)5万円、秋季シンポジウム要旨売り上げ(有賀祐勝氏)1200円。

#### 5. 学会賞について

1996年度総会の報告でも触れていますが、学会賞の創設に関しては今後、会員各位の意見を集約しながら慎重に進めていくことが総会で決定されました。学会賞のあり方に関するご意見、具体的なお提案などありましたら藻類学会事務局までお知らせ下さい。

表-3 1996年度一般会計予算案 (1996・1・1～1996・12・31)

収入の部 (円)		支出の部 (円)	
会費	4,977,900	和文誌印刷・発送費	1,970,000
普通会員	3,521,700	印刷代	1,500,000
学生会員	216,000	別刷代	250,000
外国会員	459,000	発送費	220,000
団体会員	583,200	英文誌印刷・発送費	4,443,000
賛助会員	198,000	普通会員	2,934,750
販売	340,000	学生会員	252,000
定期購読	270,000	外国会員	573,750
バックナンバー	70,000	団体会員	567,000
別刷代	250,000	賛助会員	115,500
超過頁負担金	100,000	編集費	450,000
広告代	120,000	編集補助費	150,000
受取利息	10,000	通信連絡費	200,000
文部省刊行助成金	1,150,000	事務用品費	100,000
英文誌還付金	50,000	庶務費	440,000
雑収入	5,000	事務用品費	50,000
寄付金	300,000	会議費	40,000
		通信・印刷費	250,000
		諸雑費	100,000
		幹事旅費補助	40,000
		事務補助	150,000
		第20回大会補助費	120,000
		秋季シンポジウム補助費	50,000
小計	7,302,900	小計	7,663,000
前年度繰越金	6,847,239	予備費	6,487,139
合計	14,150,139	合計	14,150,139

1996年度山田幸男博士記念事業特別基金会計予算案 (1996・1・1～1996・12・31)

収入の部 (円)		支出の部 (円)	
山田追悼号売上金	7,000		
昆布類売上金	1,000		
日米セミナー売上金	4,000		
受け取り利息	15,000		
小計	27,000	小計	0
前年度繰越金	2,522,382	予備費	2,549,382
合計	2,549,382	合計	2,549,382





訃 報

本会会員 大貝政治氏は去る 1996 年 5 月 21 日逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。日本藻類学会